



**高齢者と外国籍住民の交流による多文化共生
の取り組み@自宅でのコミュニティサロン
(うりわり日越友好サロン)
(奥本佳世子・ティエンさん・ヘンリーさん)**



①実践プランの背景・課題 (応募した時のこと)

外国籍住民:

- ・日本人の友達がいない
- ・自国の友達もいない
- ・家と職場の往復だけ
- ・困ったときに相談する人がいない

高齢者住民:

- ・何もすることがない
- ・テレビの番をするだけ
- ・いつも家に居てる⇒健康に悪い
- ・月1回の町内会や自治会でのランチ会が楽しみ

②やってみようと思ったこと・着眼点 (チームになって考えたこと)

外国籍住民と高齢者の交流

- ・日本語学習
- ・日本文化の体験
- ・生活情報の提供
- ・自国文化の紹介
- ・新しい友達

- ・昔取った杵柄が活かせる
- ・特技が活かせる
- ・新しいことにも挑戦できる
- ・新しい出会い
- ・わくわくドキドキ

・win-win ・well-being ・多文化共生社会の実現

④現場見学・トライアル (チームでやってみたこと)

- 1.ポスター展示@平野区民まつり&みんな食堂まつり
- 2.お部屋の準備(自宅2階)
- 3.多文化交流会
 - ・新春の集い
(自己紹介、フリートーク、お汁粉、福笑い、etc.)
 - ・2月の集い
(お茶会、2月の風物詩の紹介、3月の準備(ひな人形))

③事例調査・文献調査 (チームで調べてみたこと)

- ・高齢者が集まるところの訪問
(ふれあい喫茶・老人福祉センター etc.)
- ・多文化共生セミナーへの参加
- ・識字・日本語学習ボランティア講座への参加
- ・識字・日本語学習シンポジウムへの参加
- ・地域の居場所づくりセミナーへの参加
- ・識字・日本語ボランティア教室への参加
- ・こども食堂・こどもの居場所シンポジウムへの参加

①追加：実践プランの背景・課題（応募した時のこと）

1.そもそもの発端は？

①私はコロナの頃から、自宅で外国籍住民との交流のためのコミュニティサロンを開きたい、その中で、地域の高齢者も参加してお互いに交流できたらいいな！という考えの下、少しずつ準備を進めてきました。そして**社会福祉協議会の職員さん**にも相談しました。
⇒結果：自宅を3回訪問して、その後、「**この地域は保守的な人が多いから無理だ！**」と言って断られました。それで、色々と調べながら一人で準備を進めてきました。

②しかし、準備が停滞し、なかなか進みませんでした。そんなときに、大阪ええまちプロジェクトのことを知り応募し、採用件数5件のうちの1件に選ばれました。

☆何かボランティアを始めるときに、一番の拠り所にするのは**社会福祉協議会**です。断られると非常に困ります。

2.保守的って何？

私の家のある地域は非常に開放的です。多くの外国人を見かけます。

★アパート：インド人、ネパール人など

★マンション：ベトナム人、フィリピン人、ネパール人、ミャンマー人など

★こども食堂：ミャンマー人が手伝っている。オープニングのときは、ミャンマーカレーがふるまわれた。

★ガス管交換工事：フィリピン人 ★電線工事：ベトナム人

★阪神高速道路の橋脚付け替え工事：ベトナム人

★建設会社、工場：ネパール人、インドネシア人、ベトナム人、フィリピン人など

★介護施設：ベトナム人、フィリピン人、ミャンマー人など

★お店：中国人が経営する食料品店、自転車屋など

★その他：路上では中国語やベトナム語が飛び交い、通勤途上のベトナム人やネパール人等とすれ違ったり、休日にはインドネシア人や、**民族衣装を着て自転車に乗ったミャンマー人男性**とすれ違ったりする。

☆非常に国際色豊かな開かれた地域です。

3.私たちは、もう外国人がいなければ生活が成り立ちません。定着して働き住み続けていただく必要があります。

☆「この町は外国人に選ばれるだろうか？」という課題もあります。

⑤実践プランの再設定 (③④を経てチームで検討し直したこと・やってみたからこそ分かったこと)

1.地域のふれあい喫茶:

既に古い参加者同士のグループが出来ていて、新しい人が参加すると輪に入っていけない。ここで私のサロンについて話すこともできない。主催者側の配慮が必要。

ふれあい喫茶とは名ばかりで、役割を果たしていない⇒社会福祉協議会に相談

2.老人福祉センター:

興味を持ってくださる方もいるので、これからに期待できる。

3.地域の識字・日本語教室:

学習者&ボランティアさん⇒来ていただけるかもしれない

4.お部屋の準備:

参加者全員で手伝ってくださったので、問題なし

5.場所:

空き室がなくても、庭、リビング、子供部屋等を利用するのも一案である。

6.参加者:

外国人、高齢者ともに参加者募集に課題がある。

⇒社会福祉協議会に相談



⑤実践プランの再設定

(③④を経てチームで検討し直したこと・やってみたからこそ分かったこと)

地域の高齢者について

7.地域のふれあい喫茶:

★知り合いになった唯一のおじいさん:

私のサロンのことを話すと、とても興味を持って聞いてくださり、一度サロンを見に来ていただきました。

「何もしないのはもったいないなあ」とのこと。

また、将棋がお好きだそうです。

★ベトナム人にも将棋が出来る人がいます。

⇒もう少し暖かくなったら、息子さんと一緒に私のサロンにご招待します。



8.アパートのオーナーさん:(高齢女性)

★入居者の外国人(インド人、ネパール人)は、いつも出会ったら丁寧にあいさつをしてくださるそうです。

★私のサロンのことを話すと、興味を持ってくださり、「一人で偉いわね」と言ってくださいました。

★ベトナム人のことを話すと、「ベトナム人ってどんな人? 一度会ってみたい!」と興味津々

⇒近いうちに私のサロンにご招待します。(おひな祭り/端午の節句、etc.)

9.近くのこども(みんな)食堂:

★主催者は高齢女性で、介護施設のオーナーさん

★ミャンマー人の介護スタッフさんは日本のママと
思ってくれていて、いつも慕ってくれるとのこと

★私のサロンのことを、いつも気にかけてくださる

★日曜日は仕事が忙しいとのこと

(お声がけしたが、来られなかった)

⇒日曜以外で、近いうちに私のサロンにご招待します
(おひなまつり/端午の節句、etc.)

10.総括すると……、

★近隣に在住の高齢者の中にも、外国人との交流に関心を持ってくださる方々がいらっしゃいます

⇒まだ他にもいることに期待できる

★社会福祉協議会に相談しながら、少しずつ発掘していく

★私のサロンへの高齢者の参加者増も期待できる



仕事のスキルを地域に生かす、働く世代のまちづくり

大阪エヌまち
アカデミー

★将来的には、定期日本語学習会が開けるように！

★ポスター、飲食ブース、ステージ、ワークショップ



⑥ 今後の活動プラン(今後1～2年の活動イメージ)

5. 外部での発表:

☆スピーカーとして参加

・多文化交流会 & シンポジウム

・地域のこども食堂/居場所セミナー & シンポジウム

☆ブース参加

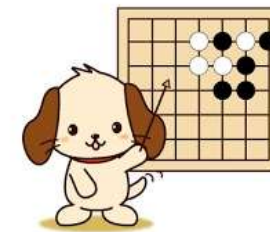
・外国人食堂イベント⇒多くの外国人参加者のご意見を聞く



日本語学習会



外部での発表



文化交流(将棋・囲碁・着物 etc.)

マスコミに取り上げられる

SNSでも発信

日本全国に広がる

私のサロンは「みんな食堂・みんなの居場所」の外国人向けバージョンであり、そこに高齢者をはじめとする地域の方々が関わることにより、多文化共生社会の実現に近づくことが出来る。

・win-win ・well-being ・多文化共生社会の実現



⑦実践編で作った広報物、ツール等

うりわり日越友好サロン

(うりわり多文化交流サロン)

このサロンは近隣に在住・在勤の外国籍の方々や地域住民との交流のためのものです。皆さんのアイデアと行動で新しいサロンを創っていきましょう！

主な活動内容：

- ・日本語学習支援・文化交流（ひな祭り、端午の節句等、日本の四季の行事）、チャット・スタジオホーム訪問
- ・PCゲームプログラミング・衣類縫製・お菓子、料理づくり・園のたまりの相談・etc.
- ・外国人の会費は全て無料です。（ボランティアです。）立寄り参加も歓迎します。
- ・お知り合いの外国籍の方をご紹介ください。・お品物寄贈も受け付けます。
- 場 所：大阪メトロ谷町線喜連江駅より徒歩3分、市立緑が丘駅より徒歩2分
- 詳細はご連絡いただいた方にお知らせします。

日 時：土日祝を中心に随時（平日も化相談）

会 費：外国人は無料。日本人はボランティア協力または物品寄贈により無料

連絡先：Mail: kayaku.en.urinari@gmail.com Tel: 06-6349-7760

Line:



1月の集い

(うりわり日越友好サロン/うりわり多文化交流サロン)

日 時：2025年1月12日(日)14:00～16:00

内 容：

・自己紹介・フットーテ・読書・おしるこ・お土産 etc.

会 費：

・外国人は無料・日本人はボランティア協力により無料（不用品等の物品寄贈も受け付けます。）

場 所：

大阪メトロ谷町線喜連江駅より徒歩3分、市立緑が丘駅より徒歩2分 詳細はご連絡いただいた方にお知らせします。

連絡先：Mail: kayaku.en.urinari@gmail.com Tel: 06-6349-7760



2月の集い

(うりわり日越友好サロン/うりわり多文化交流サロン)

日 時：2025年2月16日(日)14:00～16:00

内 容：

・お茶会・2月の風物詩のお話・3月の準備(ひな祭り)

会 費：

・外国人は無料・日本人はボランティア協力により無料（不用品等の物品寄贈も受け付けます。）

場 所：

大阪メトロ谷町線喜連江駅より徒歩3分、市立緑が丘駅より徒歩2分 詳細はご連絡いただいた方にお知らせします。

連絡先：Mail: kayaku.en.urinari@gmail.com Tel: 06-6349-7760



3月の集い

(うりわり日越友好サロン/うりわり多文化交流サロン)

日 時：2025年3月16日(日)14:00～16:00

内 容：

・お茶会・3月の風物詩のお話・おひな祭り

会 費：

・外国人は無料・日本人はボランティア協力により無料（不用品等の物品寄贈も受け付けます。）

場 所：

大阪メトロ谷町線喜連江駅より徒歩3分、市立緑が丘駅より徒歩2分 詳細はご連絡いただいた方にお知らせします。

連絡先：Mail: kayaku.en.urinari@gmail.com Tel: 06-6349-7760



4月の集い

(うりわり日越友好サロン/うりわり多文化交流サロン)

日 時：2025年4月20日(日)14:00～16:00

内 容：

・お茶会・4月の風物詩のお話・5月の準備(五月人形)

会 費：

・外国人は無料・日本人はボランティア協力により無料（不用品等の物品寄贈も受け付けます。）

場 所：

大阪メトロ谷町線喜連江駅より徒歩3分、市立緑が丘駅より徒歩2分 詳細はご連絡いただいた方にお知らせします。

連絡先：Mail: kayaku.en.urinari@gmail.com Tel: 06-6349-7760



5月の集い

(うりわり日越友好サロン/うりわり多文化交流サロン)

日 時：2025年5月24日(日)14:00～16:00

内 容：

・お茶会・5月の風物詩のお話・端午の節句

会 費：

・外国人は無料・日本人はボランティア協力により無料（不用品等の物品寄贈も受け付けます。）

場 所：

大阪メトロ谷町線喜連江駅より徒歩3分、市立緑が丘駅より徒歩2分 詳細はご連絡いただいた方にお知らせします。

連絡先：Mail: kayaku.en.urinari@gmail.com Tel: 06-6349-7760



活動記録



お茶を飲みながら、自己紹介など



風物詩についてのお勉強



ひな段の組み立て



お人形を並べます



記念撮影



1月の記念撮影

今後の活動案内 PR 等

次回のつどい:

3月16日(日)、4月20日(日)

参加ご希望の方は下記にお名前と連絡先をお知らせください！

連絡先:

Mail: kayoko.vn.uriwari@gmail.com

TEL: 080-8349-7760



Instagram:

<https://www.instagram.com/okumoto.kayoko.79?igsh=ajVpZDNmMWR1aTRI>

ユーザーネーム: okumoto.kayoko.79

Facebook: Okumoto Kayoko

ユーザーネーム: okumoto.kayoko.79

☆日程が合わない場合は、ご相談ください。別の日で調整させていただきます。

Okumoto Kayoko (Okumoto Kayoko)

Hi everyone, I'm Kayoko! I'm a Japanese woman living in Osaka. I'm looking for people who want to learn Japanese and share their culture with me. I'm also looking for people who want to share their culture with me.

My hobbies are:

- ・Cooking (I love to cook and share my recipes)
- ・Reading (I love to read books and share my favorite ones)
- ・Gardening (I love to grow plants and share my tips)
- ・Traveling (I love to travel and share my experiences)

Please contact me first, I will give you my address then.

Contact: Email: kayoko.vn.uriwari@gmail.com Tel: 080-8349-7760

QR code:

Address:

ご助言 & ご協力依頼

仕事のスキルを地域に生かす、働く世代のまちづくり
**大阪エエまち
アカデミー**

- ☆2025年度中に助成金申請をし、2026年度は助成金を受けられることを希望しています。
- ☆そのためにも、毎月最低1回以上の交流会を実施し、活動を充実させていきたいです。
- ☆皆様のご助言ご協力、よろしくお願いいたします。

- ☆お知り合いの外国人や高齢者をご紹介ください。
- ☆物品寄贈も受け付け中！

家の中にまだ使える不要品があれば、ご寄贈お願いいたします。

例)

・衣服・書籍・絵本・文具・家電・家具・食品 etc.





実践リーダー 奥本佳世子

地域の住民同士がお互いに知り合うことは大切である。特に自然災害が多い昨今では喫緊の課題だ。国籍や世代を超えて、お互いを理解し認め合い、仲良く暮らしていきたい。私たちの活動はまだまだこれからである。ティエンさん、ヘンリーさん、お忙しい中ご協力くださり大変有難うございました。これからもどうぞよろしく願いいいたします。



実践メンバー LE VAN TIEN (レ ヴァン ティエン)

私の名前はティエンです。ベトナム出身で、現在は大阪に住んで働いています。昨年、大阪のベトナムフェスティバルで偶然奥本さんとお会いし、奥本さんといういろいろお話をさせていただく中で、奥本さんのボランティア活動への積極性と熱意に大変感銘を受けました。奥本さんのお宅での皆さんとの交流会で、日本の文化や人々をより深く理解することができました。今後もたくさんの交流があり、人生の喜びを分かち合い、お互いの絆が深まることを願っています。

Tôi tên là Tiến tôi đến từ Việt Nam, hiện tại tôi đang sinh sống và làm việc ở Osaka. Vào năm ngoái tình cờ tôi gặp được cô Okumoto tại một lễ hội Việt Nam ở Osaka, trong nhiều lần nói chuyện với cô Okumoto tôi rất khâm phục trước sự tích cực và nhiệt tình của cô Okumoto trong các hoạt động tình nguyện. Trong một buổi giao lưu với mọi người tại nhà cô Okumoto giúp tôi hiểu biết hơn về văn hóa và con người Nhật Bản, tôi mong rằng sẽ có nhiều buổi giao lưu khác để giúp chúng ta có thể chia sẻ những niềm vui trong cuộc sống làm cho chúng ta gắn kết với nhau hơn.



実践メンバー Le Hoang Phu (レ ホアン フ)

私の名前はレ ホアン フです。私はヘンリーというニックネームを使うのが好きです。私はベトナム人で、現在は大阪に住んでいて、奈良で働いています。奥本さんのクラブの活動はとても和気あいあいとしていて、みんなで一緒に準備したり、楽しくおしゃべりしたり、一緒に片付けたりします。参加者数、開催回数が増え、内容もより充実したものになることを期待しています。このような活動が日本中に広まっていくことを願います。そのために、私はこれからも奥本さんを応援していきたいと思っています。

Tên tôi là Le Hoang Phu. Tôi thích dùng tên phụ là Henry. Tôi là người Việt Nam, hiện đang sống ở Osaka và làm việc tại Nara. Các hoạt động tại câu lạc bộ của Cô Okumoto rất thân thiện, mọi người cùng nhau chuẩn bị, trò chuyện vui vẻ và cùng nhau dọn dẹp. Tôi hy vọng số lượng người tham gia, cũng như số buổi gặp gỡ sẽ tăng lên và nội dung sẽ trở nên phong phú hơn. Tôi cũng mong ước rằng những hoạt động như thế này sẽ lan rộng khắp Nhật Bản. Vì mục đích đó, tôi muốn tiếp tục hỗ trợ cô Okumoto.